

しみじみ朗読文庫の合成音声作品の

ご購入を検討いただいている皆様へ

しみじみ朗読文庫の朗読作品に関心を持っていただきありがとうございます。この朗読CDは、解説文に記載の通り、合成音声によるものです。その長短をよくご理解いただき、ご試聴いただいた上でご購入いただければと思います、少しこれに関してのご説明をさせていただきます。

合成音声ですが、従来の「人工音声」でイメージされる無機的、電子的なものとは大きく違います。実際のアナウンサーの肉声の発音をもとに合成された声ですので、肉声に近づいています。その点ではかつての人工音声とは別物です。発音、抑揚（イントネーション）、間合いは調整できますのでできる限り自然なものになるように調整していますが、ただそれでも、本物の肉声とは異なります。

1 合成音声のデメリット、苦手

●人工音声のイメージをご存じの方々からは、私どもの合成音声のレベルの高さをご評価いただく声もありますが、他方でコメント欄でも見られるように、「単調だ」「下手だ」というご意見もあります。肉声による朗読のイメージを前提にして、それとの比較で評価いただくと、どうしてもそういう印象になってしまうかもしれません。合成音声ですから、肉声のように起伏や緩急などの変化はつけることはできませんし、感情の機微を出すこともできません。そういう意味で、特に会話文は苦手です。よく言えば「淡々」、悪く言えば「単調」です。もちろん、肉声による朗読と比べれば「下手」です。ボーカロイドの「初音ミク」の朗読版的なものとお考えいただければと思います。

●また、「早口だ」というご意見もあります。これもどのレベルに設定するかは難しいところで、音訳的な活用をされる方からは速いスピードで聞きたいというご要望も多い一方で、速すぎると感じる方もおられます。最近は少し遅めに設定して作品を制作するようにしていますが、この点は、次のような対応が可能かと思えます。

(1) Windows MediaPlayer による再生速度調整

速度は、Windows には標準装備されている Windows MediaPlayer などで mp3 ファイルに転換してから再生していただくと、お好みの速度での再生が可能です。同 Player は、0.5 倍～2 倍までの範囲で再生速度を適宜設定できるようになっていますから（できないバージョンもあります）、お好みの速度に設定してお聞きいただければと思います。

<手順> ヘルプ欄より「コンテンツの再生速度を速めたり遅くしたりするには」

①Windows Media Player をプレイビューモードに切り替える。

②右クリックして、「拡張設定」→「再生速度の設定」で適宜設定する。

(2)「聞々ハヤえもん」などによる速度、ピッチ等の変換

また、「聞々ハヤえもん」というフリーソフトでは、速度やピッチ（音の高さ）自体を変換したファイルを作ることができますので、それらのご利用もご検討ください。

<http://soft.edolfzoku.com/hayaemon2/>

2 合成音声作品のメリット

●それでは、合成音声作品としてのメリットや活躍場所はどのようなところにあるのでしょうか？それは、プロの朗読家によるスタジオ録音では相当のコストがかかる一方で、文藝作品の多くはリスナー、購入者が少なく、商品化することが難しいという難点をカバーできるという点がまず挙げられます。合成音声作品へのご批判として、「プロの朗読家を起用すべきだ」というご意見がしばしばあります。もし、ベストセラー作品やハウツーものであれば、多くの需要が見込めるものが少なくないですから、プロの朗読家やナレーターによるコストをかけたオーディオブック作品を商品化できる可能性は十分あります。しかし、文藝作品の多くは、一般的にはそういう環境にはないのが実情です。現実には、この数十年、メジャーな作品が朗読 CD 化されているに留まっていて、圧倒的多数の文芸作品、ノンフィクション作品などは、音声化された作品はありません。

しかし、合成音声であれば、朗読家やスタジオ等のコストは不要となり、メジャーではないけれども優れた多くの作品を、比較的短期間に、そして低廉なコストで制作していくことが可能になります。プロの肉声による朗読にはかないませんが、耳で聞ける文藝作品をバラエティ豊かに揃えることも可能になります。音声化作品が存在しないよりは選択肢のひとつとして存在意義があるものと考えているところです。

●また、合成音声であれば、長文の作品であっても全文朗読が可能になるということがあります。朗読家を起用して長文作品を朗読すれば、それだけ時間とコストがかかり、それらを回収できる価格設定で売れるものは稀です。しかし、合成音声であれば、長文朗読であっても（時間は多少かかりますが）あまりコストをかけずに制作することができます。そういった点でもメリットがあります。

●会話がないうた淡々とした随筆や、ノンフィクション、記録文などは、比較的得意分野です。そういった作品群がプロの朗読家によって朗読 CD になる可能性は少ないですから、耳で聴ける選択肢をご提供できます。

●音訳作品として、ボランティアの方々によるものの補完としての活用可能性があるかと思えます。

このように、合成音声作品につきましては、一つの選択肢として見ていただき、試聴サイトで試聴もしていただいた上で、もし気に入ってご購入いただければ幸いです。